

# 森の川自然散歩

2019年3月号



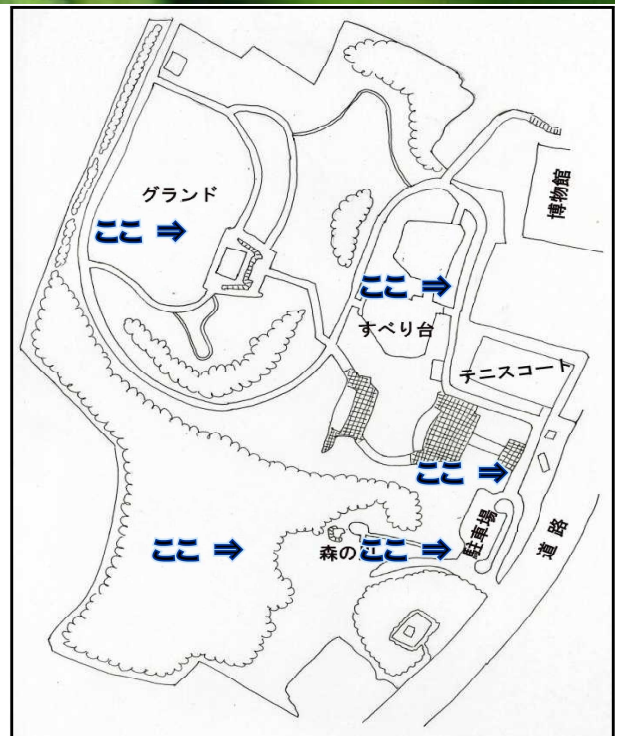
暖かな陽射しの日にはシジミチョウびより

(上)：公園の草むらにとまるヤマトシジミ。

(右上)：ソテツ広場でひなたぼっこをしているヤマトシジミ。

## ヤマトシジミ (メモ) ▶▶▶

- 3月の暖かい日に、公園を散歩していると、足下をひらひらと飛び回る小さなチョウにお目にかかります。シジミチョウの仲間です。
- 森川公園の代表的なシジミチョウは、ヤマトシジミです。翅を広げても1cmそこそこの小さなチョウです。一番小さな貝である蜆(シジミ)貝にちなんで名付けられています。
- 体が小さいシジミチョウは、空高くとぶことは出来ません。歩く人の膝の高さくらいまでがせいぜいです。
- 森川公園では、グラウンドの芝生や遊歩道沿いの植物が生えている場所なら、たいていのところで見つけることができます。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (25) 君はどこから？ ～ 一本だけのタブノキ ～



森川公園の上の広場(グランド)の南端、モクマオウの並木から上がった先に1本だけ生えています。もともとその場所にあったものなのか、それとも後から植えられたものなのかは不明です。

タブノキは本州から先島諸島の島々に普通に生えています。沖縄島でもヤンバルの山地や中南部の石灰岩の森でも見られます。常緑の高木で、高さは8～16mになります。

冬から春に黄緑色の花を咲かせますが、地味なのであまり注目されません。一方で、枝先につく大きな若芽は、よく目立ち特徴のひとつになっています。若芽はどんどん成長すると、高くつき上がっていきます。そして芽吹きの際には、赤く色づいた若葉を出します。

(左)：大きくふくらんだタブノキの新芽。

# 森川公園3月の花ごよみ

## ～ ヤブツバキ ～

- 森川公園の駐車場の側の遊歩道や、上の広場に上がる遊歩道のテニスコートの手前に植えられています。
- 沖縄各地の島々に普通に生えています。高さは3～10mの常緑の小高木です。
- 毎年2月から3月に赤い大きな花を咲かせます。冬の公園に鮮やかな彩りを添える植物のひとつです。
- 秋には直径2～7cmくらいの実をつけます。実を搾ってとり出した椿油は、食用や髪油、化粧油などとして利用されます。



上：入口の駐車場の側で咲いているヤブツバキの花。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

